

令和6年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 12月 1日

事業所名 ウィズ・ユー日立

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			法令を遵守したスペースを確保しています。指導室と学習室を壁で仕切ることで、子どもたちが活動に集中できるよう配慮しています。	
	2 職員の配置数は適切である	9			法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置し、お子さまの安全面に配慮しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			玄関等、教室内には段差等がないようにしています。また、トイレには手すりを設けています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			日々の活動前や活動後等、職員が集まる時間を利用して参画しています。また、活動を計画する際には計画書と報告書を作成し、職員間で周知しています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			保護者さま向けの評価表により、集計結果をまとめた上で、保護者さまの意向等を把握し、業務改善につなげてまいります。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			保護者さま向けの評価表を集計しまとめた上で、保護者さまの意向等を把握し、ホームページに公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	2		現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。保護者等の評価表を集計し、改善すべき点をピックアップして今後の業務改善につなげてまいります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			土曜日など、就業終了時間が早い日などを利用し研修を行い、支援への理解度を深めています。	今後も土曜日などを利用し、出来るだけ全職員が参加できるよう、時間を確保し継続してまいります。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			保護者さまとの面談、日々の記録や職員たちの話し合いにて、様々な視点で考えています。	引き続きお子さまや保護者さまのニーズを分析し、職員全員で意見を出し合い、支援計画を作成します。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		活動記録を使用し、評価を取っています。	あらゆる場面を想定し、お子さまの行動状況を把握し、活動内容を変更するなど、考慮していく必要がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			児童発達支援管理責任者を中心に、プログラムの立案、目的や支援方法について職員全員で行っています。また、お子さまの事例を共有・議論する場を設けています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			様々な活動内容をお子さまの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べるように計画しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			休日（特に土曜日）は特別プログラムを計画・実施し、平日では行えない活動（体験活動や社会科見学、未就学児との関わりをもつ等）を取り入れています。	様々な活動内容をお子さまの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べるように計画してまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			運動遊びなど集団で行う活動に加え、個別活動の時間も取り入れ、お子さまにとってより有効な支援を行えるよう計画書を作成しています。引き続き、お子さまの状況やニーズに応じた支援を行ってまいります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			進行役（リーダー）を決め、朝の送迎前や空き時間に、その日行う支援内容について職員に周知し、支援内容や役割・配置などを確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			サービス提供記録・ケア記録・生活記録の記入の時間等、職員が集まる時間や話し合いが出来る時間を利用して支援の内容などを職員間で共有し、振り返りを行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			HUGシステムにある「サービス提供記録・ケア記録・生活記録」の中にその日行った支援について必ず明記し、今後の支援の改善につなげています。	活動記録表にある「次回引継ぎ事項」に気が付いた点などを記入し、振り返りをできるようにする。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			支援計画の更新毎に目標と支援内容の見直しを行っています。また、支援計画等に基づいて利用者の状況と目標や活動が一致しているか、見直しの必要性があるかを職員間で判断しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9			「支援の質の確保、およびその向上」のため、お子さま本人、およびご家族の意向を重視した支援計画を作成し、基本活動を複数組み合わせ支援にあたっています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1		お子さまの支援について担当制はとっておりませんが、すべての職員がお子さまの状態を把握し、チームでの支援を行っております。相談支援員や学校関係者など、お子さまの状況の共有を行っています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	1		必要に応じて関係機関と連携をとり、情報の共有や連絡の調整等を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	2		現在該当する利用者はいませんが、医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子さまの受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で慎重に判断いたします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	1		必要に応じて保護者さまや関係機関との間で、お子さまの状況や支援内容の情報の共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	4		現在契約しているお子さまで学校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行した子がいないため行ってはませんが、今後必要に応じて情報の提供を行っていく予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	1	必要に応じて、他の放課後等デイサービス事業所とお子さまの状況や支援内容の情報共有を行っています。	今後、発達支援研究会等の外部研修に積極的に参加できる体制を作っていきたいと思っております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	5	公園遊びなど、外での活動を行った際、そこで遊んでいた子どもたちと一緒に遊ぶことがあります。	現在は放課後児童クラブ等との交流は行ってませんが、今後一緒に活動する機会を作っていけるよう検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1	3	日立市内の自立支援部会に参加し、支援内容や課題を共有しています。	部会や会議等に参加した際に、職員間で共有していく必要があります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			HUGシステムにある「保護者との連絡事項」への記載や、送迎時にお子さまの様子をお伺いし、状況や課題について保護者さまと共通理解を図るよう努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	1		月1回、おはなし会「AND・YOU」を開催しています。また、HUG内メールやお電話にてご相談に応じたサポートをさせていただきます。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			運営規定、支援の内容、利用者負担金額等について、契約時にご説明させていただいています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			月1回、おはなし会「AND・YOU」を開催しています。 また、必要に応じて事業所内相談支援(個別面談)や、お電話・メールでのご相談も対応を行います。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9			保護者さま同士のつながりが持てるようおはなし会「AND・YOU」を開催しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			相談やご意見、ご要望をいただいた際には、詳細内容を確認し、改善方法の検討など含め、対応させていただいています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		1	HUG内の利用予定表に、行事予定など記載しております。 また、HUGシステムにある「サービス提供記録・ケア記録・生活記録」に、活動の様子を記載し、定期的にInstagramでも発信しております。	
	35	個人情報に十分注意している	9			個人情報が記載された書類は常時鍵付きキャビネットへ保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			HUGシステムや体調管理シートを活用して情報伝達等を実施しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	3	「職場見学」など地域住民との関わりを持てる機会を作っています。	特別プログラムを行う際、お子さまだけでなく保護者さまも招待するなど、今後行ってきたいです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9			避難経路・避難場所の提示、感染症予防への対策・対応を行っています。また、非常災害対策計画についての策定を行い、職員や保護者に周知しています。	定期的な情報提供や個別に配布物にて周知するなど、より体制を強化できるよう検討していく必要があります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			避難訓練、消火訓練など定期的(年2回以上)に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			土曜日など、就業終了時間が早い日を利用し虐待防止研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			土曜日など、就業終了時間が早い日を利用し身体拘束に関する研修を行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	1	契約時に個別配慮シートに記載し、保護者さまからお子さまの状況等を確認しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			お子さまの様子を観察しながら、ヒヤリハットに値する行動等について、毎月報告書をまとめ、職員間で情報の共有を行っています。	